

ほんのなまえととじかた

- 表1 (ヒョウイチ) : オモテ表紙
- 表2 (ヒョウニ) : オモテ表紙の裏
- 表3 (ヒョウサン) : 裏表紙の裏
- 表4 (ヒョウヨン) : 裏表紙

表2-3は通常は印刷無し。
原稿もなくてOK。
有料オプションで印刷可能。

表2-3の印刷があってもなくても表紙は4ページとして数える。
料金表やご注文の際のページ数は本文ページ数+表紙4ページなので注意。

天 (テン) : 本の上側

小口 (コグチ) :
本を開く側

地 (チ) : 本の下側

遊び紙 (アソビガミ) :

表紙と本文の間の紙。本文ページ数にはカウントしない。
色紙、クラフト、トレーシングペーパーなど様々。
入れる場所は前のみ、後ろのみ、前後の3パターン。
入れなくてもいい。有料オプション。

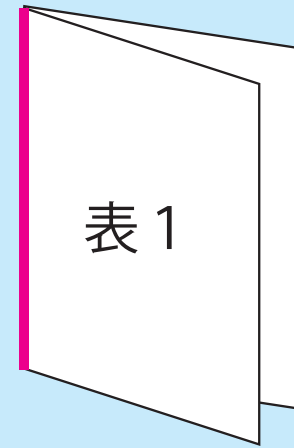
背 (セ) :
本を綴じる側。
本を開いた時の綴じ付近を「ノド」と言う。

右綴じ



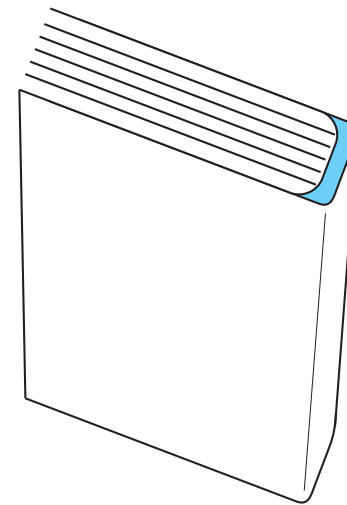
表紙に向かって右側で綴じる。
漫画、小説など、縦書きの本に多い。

左綴じ



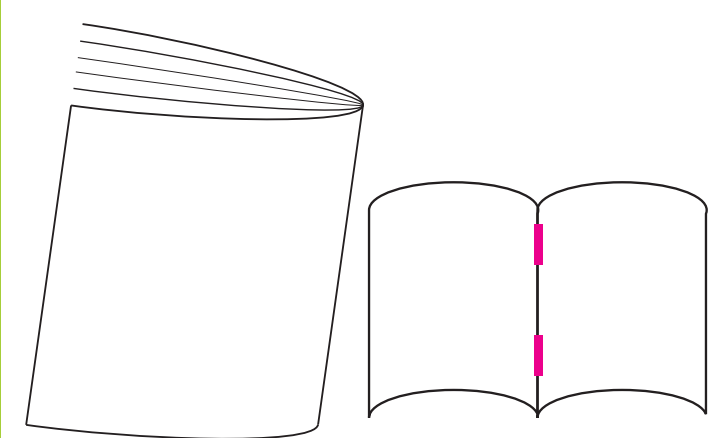
表紙に向かって左側で綴じる。
解説書など、横書きの本に多い。

無線綴じ (平綴じ)



背を糊でとめて製本する。
背幅 (背表紙) ができる。
背文字を入れる場合は背幅5mm以上が推奨。
2ページ単位で製本可能。
ノドは見えにくくなるので隠しノンブルを使えるがセリフなど、必要なものが食われないように注意。

中綴じ



背をホチキス (銀色) でとめて製本する。背幅 (背表紙) はできない。
4ページ単位で製本可能。
※ 1枚の紙に4ページ分印刷して綴じるので、4の倍数でないとな製本できない。10P、14Pなどは不可。
最大40ページまで。
ノドに食われないので隠しノンブルをせない。
遊び紙を入れる場合は前後のみ。